



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社バローホールディングス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9956 URL <https://valorholdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 田代 正美  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 篠花 明 (TEL) 0574-60-0858  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	610,575	6.3	18,362	11.9	20,587	11.9	11,188	11.8
2023年3月期第3四半期	574,552	3.8	16,407	△11.2	18,396	△10.3	10,012	13.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 13,771百万円( 22.6%) 2023年3月期第3四半期 11,229百万円( 6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	208.90	208.88
2023年3月期第3四半期	186.43	186.40

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	458,530	177,585	35.4
2023年3月期	417,107	167,520	36.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 162,192百万円 2023年3月期 152,733百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	31.00	58.00
2024年3月期	—	28.00	—		
2024年3月期(予想)				32.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	772,000	1.6	20,500	2.2	23,300	1.1	9,300	22.3	173.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	53,987,499株	2023年3月期	53,987,499株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	421,996株	2023年3月期	429,374株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	53,561,222株	2023年3月期3Q	53,705,072株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料P.5「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の規制が緩和されて以降、経済活動の正常化が進み、インバウンド消費や個人消費が持ち直した結果、景気の緩やかな回復が見られました。一方で、急激な円安進行や海外経済の減速懸念、ウクライナや中東の情勢不安、エネルギー・資材価格の高止まりが続いており、先行き不透明な状況にあります。当社グループの事業領域におきましても、これらの影響により幅広い品目で値上げが続いた結果、消費者の節約志向、低価格志向が高まっており、また人件費や物流費などのコストも上昇するなど、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、「コネク2030～商品・顧客・社会を繋ぐ」を戦略目標とする中期3カ年経営計画の最終年度を迎え、製造機能を活かした商品力の向上や来店目的を明確にした「デスティネーション・ストア」への転換を進めました。スーパーマーケット事業では関西エリアへの新規出店や生鮮部門の更なる強化を目的とした改装により売上は高い伸びを見せるとともに、対面販売を強化した鮮魚部門における商品の販売拡大も進めました。ドラッグストア事業ではヘルス&ビューティー部門及び調剤部門を強化するとともに、より便利なサービスを提供することを目的とした、自転車による処方薬を即時宅配する取り組みを開始しました。

また、地域社会の課題解決に向けた取り組みの一環として、名古屋市との間で「災害時における応急活動の協力に関する協定書」（上下水道局）及び「災害時における応急生活物資供給等の協力に関する協定書」（経済局）の2件の協定を2023年10月に締結いたしました。

一方、顧客との接点強化に向けて、グループ店舗網だけでなく、自社電子マネー「Lu Vit（ルビット）カード」やアプリの活用注力した結果、当第3四半期末現在の「Lu Vitカード」会員は449万人、アプリ登録会員は98万人となりました。また、当第3四半期に自社クレジットカード「Lu Vit クレジットカード」への入会及び利用促進に向けて、キャッシュバックやポイントプレゼントなどのキャンペーンを開催しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は次のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	増減
営業収益	574,552百万円	610,575百万円	36,022百万円
営業利益	16,407百万円	18,362百万円	1,954百万円
経常利益	18,396百万円	20,587百万円	2,190百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,012百万円	11,188百万円	1,176百万円

なお、当第3四半期末現在のグループ店舗数は1,343店舗となっております。

## 連結業績の分析

## ①営業収益

営業収益は6,105億75百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。スーパーマーケット事業では、新規出店による売上高の増加や株式会社バローの既存店売上高が前年同四半期比5.0%伸長したほか、ドラッグストア事業においても、既存店売上高が前年同四半期比5.1%伸長し、増収となりました。

## ②営業利益

営業総利益は1,758億6百万円（前年同四半期比6.0%増）となり、販売費及び一般管理費は水道光熱費が減少したものの、店舗の新設に伴う人件費及び賃借料等の増加により、1,574億44百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。

これらの結果、営業利益は183億62百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。営業収益営業利益率は前年同四半期比0.1ポイント改善し、3.0%となりました。

## ③経常利益

営業外収益は33億80百万円（前年同四半期比9.7%増）となり、営業外費用は11億55百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

これらの結果、経常利益は205億87百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業収益経常利益率は前年同四半期比0.2ポイント改善し、3.4%となりました。

#### ④親会社株主に帰属する四半期純利益

特別利益7億97百万円（前年同四半期比61.6%増）及び特別損失12億71百万円（前年同四半期比79.1%増）の計上により、税金等調整前四半期純利益は201億13百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。また、法人税等の合計は76億85百万円（前年同四半期比16.4%増）、非支配株主に帰属する四半期純利益は12億38百万円（前年同四半期比20.8%減）となりました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は111億88百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### セグメント別の経営成績

##### 営業収益

	前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	増減
スーパーマーケット事業	320,324百万円	344,008百万円	23,684百万円
ドラッグストア事業	122,289百万円	129,307百万円	7,017百万円
ホームセンター事業	93,857百万円	93,539百万円	△317百万円
スポーツクラブ事業	7,178百万円	7,401百万円	223百万円
流通関連事業	8,385百万円	12,599百万円	4,214百万円
その他の事業	22,517百万円	23,718百万円	1,201百万円
合計	574,552百万円	610,575百万円	36,022百万円

##### 営業利益又は営業損失

	前第3四半期 連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	増減
スーパーマーケット事業	10,515百万円	14,555百万円	4,040百万円
ドラッグストア事業	3,267百万円	4,027百万円	760百万円
ホームセンター事業	3,793百万円	2,847百万円	△946百万円
スポーツクラブ事業	△723百万円	△553百万円	169百万円
流通関連事業	2,793百万円	3,050百万円	256百万円
その他の事業	1,410百万円	△125百万円	△1,536百万円
セグメント間取引消去	△4,468百万円	△4,071百万円	396百万円
全社費用等(注)	△181百万円	△1,367百万円	△1,185百万円
合計	16,407百万円	18,362百万円	1,954百万円

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

#### <スーパーマーケット(SM)事業>

SM事業の営業収益は3,440億8百万円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は145億55百万円（前年同四半期比38.4%増）となりました。

同事業におきましては、4店舗を新設、2店舗を閉鎖し、当第3四半期末現在のSM店舗数はグループ合計318店舗となりました。中核の株式会社バローでは、2023年10月に大阪府内4店舗目となる「SMバロー堺豊田店」（大阪府堺市南区）、愛知県内60店舗目となる「SMバロー中小田井店」（愛知県名古屋市中区）を新設しました。

同事業では、生鮮・惣菜部門を支える食品加工業及び卸売業が貢献するとともに、株式会社バローにおいて、既存店売上高が前年同四半期比5.0%伸長し、売上総利益率が上昇し、事業全体で増収増益となりました。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は1,293億7百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益は40億27百万円（前年同四半期比23.3%増）となりました。

同事業におきましては10店舗を新設、3店舗を閉鎖し、当第3四半期末現在の店舗数は502店舗（うち調剤取扱170店舗）となりました。

同事業では、新型コロナウイルス感染症の沈静化により、マスクなどの関連商品の売上は減少したものの、インフルエンザ感染者の増加による関連商品や外出機会の増加によるメイクコスメなどの需要が大きく増加しました。また、原材料価格の上昇による値上げが相次ぐなかでの食品や日用品の価格対応や、調剤併設店舗への改装を推進して利便性を高めたことで既存店売上高が前年同四半期比5.1%伸長するとともに、売上総利益率も上昇し、増収増益となりました。

#### <ホームセンター（HC）事業>

HC事業の営業収益は935億39百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は28億47百万円（前年同四半期比24.9%減）となりました。当第3四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2023年3月1日から11月30日までを対象としております。

同事業におきましては、東海エリアのドミナントの深耕に向けて、2023年11月に愛知県を地盤にHC5店舗を展開する株式会社ホームセンター・アントを子会社化しました。また、新型コロナウイルス感染症の沈静化後のライフスタイルの変化に対応するために、プライベート・ブランド商品の開発に重点的に取り組んだほか、工具資材を専門に扱うプロショップの新規出店を行いました。しかしながら、生活必需品を中心とした物価高の影響による消費者の節約志向が高まり、巣ごもり需要が落ち込んだことから、既存店売上高は株式会社ダイユーエイト、株式会社ホームセンターバロー及び株式会社タイムの3社合計で前年同四半期比1.5%減少し、減収となりました。

なお、店舗につきましては、子会社化した株式会社ホームセンター・アントの5店舗を含む8店舗を新設、2店舗を閉鎖し、当第3四半期末現在の店舗数はグループ合計167店舗となっております。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は74億1百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業損失は5億53百万円（前年同四半期7億23百万円）となりました。

同事業におきましては、人件費や広告宣伝費などの売上原価は増加したものの、会員獲得施策としてナイト会員の土日祝利用拡大やスイミングスクール、運動能力向上塾の新規開校などにより、若年層を中心に会員数が増加した結果、増収となり、営業損失は縮小しました。

店舗につきましては、2店舗を新設、8店舗を閉鎖し、当第3四半期末現在の店舗数はグループ合計178店舗（うちフランチャイズ運営43店舗）となっております。

#### <流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は125億99百万円（前年同四半期比50.3%増）、営業利益は30億50百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

同事業におきましては、SM事業やドラッグストア事業の売上伸長に伴い、物流通過高、包装資材などの売上が伸び、また当期に子会社化した昭和フィルム株式会社及びユニードパック株式会社が売上、利益に寄与し、増収増益となりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の営業収益は237億18百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業損失は1億25百万円（前年同四半期営業利益は14億10百万円）となりました。当第3四半期連結累計期間に含まれるアレンザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2023年3月1日から11月30日までを対象としております。

同事業には、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業、クレジットカード事業などが含まれております。ペットショップ事業では、生体の販売不振が継続しているものの、ペットシーツやペットフードなど消耗品の売上は堅調に推移し、トリミングやドッグトレーニングといったサービス部門の取扱高も伸長し、増収となりました。一方、クレジットカード事業においては、「Lu Vit クレジットカード」への新規入会者を対象としたキャッシュバックキャンペーンなどを展開したことに伴う費用の増加がありました。これらの結果、その他の事業全体で営業損失となりました。

なお、ペットショップ事業におきましては、6店舗を新設、1店舗を閉鎖し、当第3四半期末現在の店舗数は124店舗となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産、負債及び純資産の残高、前期末対比の増減額及び増減要因は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)	増減
総資産	417,107百万円	458,530百万円	41,423百万円
負債	249,587百万円	280,945百万円	31,358百万円
純資産	167,520百万円	177,585百万円	10,064百万円

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ414億23百万円増加し、4,585億30百万円となりました。これは主に、流動資産の貸倒引当金が3億39百万円増加したものの、現金及び預金133億31百万円、受取手形、売掛金及び契約資産119億15百万円、商品及び製品88億68百万円及び有形固定資産67億40百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ313億58百万円増加し、2,809億45百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金177億38百万円、コマーシャル・ペーパー40億円、流動負債その他に含まれる未払金36億35百万円がそれぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ100億64百万円増加し、1,775億85百万円となりました。なお、非支配株主持分及び新株予約権を除く純資産は1,621億92百万円となり、自己資本比率は35.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,482	34,814
受取手形、売掛金及び契約資産	16,701	28,616
商品及び製品	59,701	68,569
原材料及び貯蔵品	1,418	1,582
その他	16,379	14,560
貸倒引当金	△11	△350
流動資産合計	115,671	147,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	147,599	152,312
土地	54,524	54,193
その他（純額）	23,280	25,640
有形固定資産合計	225,405	232,145
無形固定資産		
のれん	1,807	2,050
その他	16,619	16,666
無形固定資産合計	18,426	18,716
投資その他の資産		
差入保証金	32,482	32,714
その他	25,460	27,513
貸倒引当金	△339	△352
投資その他の資産合計	57,603	59,875
固定資産合計	301,436	310,738
資産合計	417,107	458,530



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,504	77,243
短期借入金	31,777	36,241
コマーシャル・ペーパー	19,000	23,000
未払法人税等	4,744	3,173
賞与引当金	3,670	2,341
引当金	730	1,076
資産除去債務	82	159
その他	30,924	38,895
流動負債合計	150,433	182,129
固定負債		
社債	10,000	10,100
長期借入金	45,766	44,744
引当金	411	493
退職給付に係る負債	6,502	6,781
資産除去債務	18,151	18,749
その他	18,322	17,946
固定負債合計	99,153	98,815
負債合計	249,587	280,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,609	13,609
資本剰余金	20,062	20,066
利益剰余金	119,567	127,583
自己株式	△831	△816
株主資本合計	152,408	160,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	673	2,188
繰延ヘッジ損益	△2	△18
為替換算調整勘定	△207	△304
退職給付に係る調整累計額	△138	△116
その他の包括利益累計額合計	325	1,749
新株予約権	19	19
非支配株主持分	14,766	15,372
純資産合計	167,520	177,585
負債純資産合計	417,107	458,530

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	555,803	591,339
売上原価	408,695	434,768
売上総利益	147,107	156,570
営業収入	18,748	19,235
営業総利益	165,856	175,806
販売費及び一般管理費	149,448	157,444
営業利益	16,407	18,362
営業外収益		
受取利息	94	115
受取配当金	100	114
受取事務手数料	1,185	1,198
受取賃貸料	511	632
持分法による投資利益	53	33
その他	1,136	1,285
営業外収益合計	3,082	3,380
営業外費用		
支払利息	566	545
不動産賃貸原価	375	460
その他	151	148
営業外費用合計	1,093	1,155
経常利益	18,396	20,587
特別利益		
固定資産売却益	14	647
負ののれん発生益	1	15
違約金収入	76	130
補助金収入	49	-
為替換算調整勘定取崩益	163	-
新株予約権戻入益	101	-
その他	86	3
特別利益合計	493	797
特別損失		
固定資産売却損	-	9
固定資産除却損	108	106
減損損失	370	977
固定資産圧縮損	17	-
その他	212	177
特別損失合計	710	1,271
税金等調整前四半期純利益	18,180	20,113
法人税、住民税及び事業税	6,368	7,475
法人税等調整額	234	210
法人税等合計	6,603	7,685
四半期純利益	11,577	12,427
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,564	1,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,012	11,188

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	11,577	12,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	1,529
繰延ヘッジ損益	△17	△16
為替換算調整勘定	△333	△192
退職給付に係る調整額	32	21
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△347	1,343
四半期包括利益	11,229	13,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,738	12,612
非支配株主に係る四半期包括利益	1,491	1,158

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット(SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	320,324	122,289	93,857	7,178	8,385	552,035	22,517	574,552
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,016	164	1,237	413	26,093	31,925	3,008	34,934
計	324,341	122,454	95,094	7,591	34,479	583,960	25,525	609,486
セグメント利益又は損失(△)	10,515	3,267	3,793	△723	2,793	19,646	1,410	21,057

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業などであります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	19,646
「その他」の区分の利益	1,410
セグメント間取引消去	△4,468
全社費用等(注)	△181
四半期連結損益計算書の営業利益	16,407

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント13百万円、「ドラッグストア事業」セグメント31百万円、「ホームセンター(HC)事業」セグメント41百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント283百万円及び「その他」0百万円の減損損失を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット (SM) 事業	ドラッグ ストア事 業	ホームセ ンター(H C)事業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	344,008	129,307	93,539	7,401	12,599	586,856	23,718	610,575
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4,430	169	1,276	610	25,156	31,644	2,137	33,781
計	348,438	129,477	94,815	8,011	37,756	618,501	25,855	644,356
セグメント利益又は損失(△)	14,555	4,027	2,847	△553	3,050	23,926	△125	23,800

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップ事業、不動産賃貸業、衣料品等の販売業、クレジットカード事業などがあります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	23,926
「その他」の区分の損失(△)	△125
セグメント間取引消去	△4,071
全社費用等(注)	△1,367
四半期連結損益計算書の営業利益	18,362

(注) 全社費用等は、主に関係会社からの配当収入及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において閉鎖が予定されている店舗について「スーパーマーケット(SM)事業」セグメント455百万円、「ドラッグストア事業」セグメント270百万円、「スポーツクラブ事業」セグメント152百万円及び「その他」99百万円の減損損失を計上しております。